



コミュニティ・スクール基本理念

―地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成―

川崎小学校 めざす学校像

ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

NO.27 令和8年2月10日 校長

## 創立150周年記念植樹を含めた樹木に関する記録 桜(ソメイヨシノ)の整備も完了しました

川崎小学校の校庭の南側には、桜(ソメイヨシノ)の木が植えてあり、入学式の頃には満開になり、新入生を迎えてくれます。その桜の木もかなりの年数が経っており、幹の部分に穴が開いていたり、枝が落ちかかっていたりするものもありました。

ソメイヨシノの寿命は一般的に60年～80年程度と言われていいます。ただし、樹齢100年を超える個体も存在し、適切な手入れや環境によっては寿命が伸びる場合もあるそうです。

そこで、創立150周年記念イヤーの取組の1つとして、校庭の南側の桜の木の診断、伐採、植樹をしてはどうかという話題が今年度の早い段階で学校運営協議会の委員の方から持ち上がりました。

以下これまでの記念植樹を含めた樹木に関する記録及び取り組みの経過をまとめました。

### ● 危険木(樹木)診断の申請

- 校庭の樹木の幹の部分に穴が開いていたり、枝が落ちかかっていたりするものもあることから、亀山市教育委員会教育総務課様を通じて、危険木診断を緑化推進協会へ申請しました。

### ● 樹木医による危険木(樹木)診断

- 5月30日に樹木医による危険木の診断を行いました。
- 子どもたちにとって安全安心な教育環境を整えるための指標を得ることができました。



### ● 植樹について

- 桜の苗木を植える適切な時期は、落葉後の11月中旬から12月上旬、または2月下旬から3月中旬であること、川崎ふれあいフェスタ・創立150周年記念式典の計画段階では桜の整備及び伐採の目途がついていなかったため、桜の植樹は断念しました。
- その代わりに、川崎ふれあいフェスタ・創立150周年記念式典にあわせ、ハナミズキを植えることになりました。

## ● 川崎ふれあいフェスタ・創立150周年記念式典でハナミズキの記念植樹

- 11月22日の川崎ふれあいフェスタ・150周年記念式典でハナミズキの記念植樹を行いました。
- 児童会役員・来賓・学校運営協議会会長・川崎まちづくり協会会長・自治会連合会会長・PTA会長・校長で植樹をしました。一見知事にも植樹をしていただきました。
- 記念植樹樹種：ハナミズキ
- ハナミズキの花言葉は「返礼」「永続性」「私の想いを受けとめて」です。創立150周年記念にふさわしい花言葉です。



## ● 四日市農芸高校環境造園科の生徒の皆さんによるソメイヨシノの剪定実習

- 1月21日に四日市農芸高校環境造園科の生徒さんにご来校いただき、出前実習を行いました。
- この出前実習は四日市農芸高校さんの日ごろの実習の成果を発揮するとともに、地域貢献を兼ねています。
- 造園技術コース3年生の生徒の皆さんによる剪定実習として、午前中に校内のソメイヨシノの枝の剪定を高校生が行い、5限目に枝を細かくする作業を6年生が手伝いました。
- 初めてのこぎりを握る児童もいましたが、高校生が上手に教えてくれて、けがもなく作業を進めることができました。
- 



## ● 桜の木の伐採を行いました

- 亀山市の委託により1月23日には近藤緑化様による危険木の伐採作業をしていただきました。
- これで、一連のソメイヨシノに係る作業が終了しました。今まで関係していただいた皆様方におかれましては、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。
- これで、来春の桜の開花がさらに待ち遠しくなりました。

